

（令和5年度 日本ビクター・JVC ケンウッド退職者の会）

JVCKW シニアクラブ

（文責・総会書記：西郷 治男）

- 日時：2023. 2. 11(火) 10:00～11:00 ※3年4ヶ月ぶりに対面形式で開催
■場所：友愛会館 9階大ホール （東京都港区芝2-20-12 ※JAM本部）

1. 開会 [10:00]

◆はじめに、司会の宮本副会長よりこの3年間の物故者10名が紹介され、黙祷が行われた。

<【支部名】、敬称略> 【神奈川】永原慶次(令3年4月、76才) 大西伸二(令3年12月、84才)
飯島康夫(令4年3月、79才) 石塚 勝(令4年6月、82才) 【東京】村田克巳(令3年12月、85才)
【千葉】宇田川修作(令4年8月、80才) 【茨城】宇野久司(令3年3月、76才) 對比地省造(令3年3月、83才) 岡見富大(令4年10月、81才) 【群馬】杉崎隆司(令3年10月、76才)

◆開会挨拶に続き、議長選出の事務局案(浅見憲一氏)が提案され、承認された。

2. 総会役員選出

◆議長の浅見氏が登壇して挨拶の後、書記に西郷が任命された。 <参加者:40名>

◆次に議長より前菅沼会長のメッセージ(下記)が読み上げられ、現状お元気な様子が紹介された。

長らくご無沙汰しております、菅沼です。おかげさまでその後、大過なく過ごしております。今回の総会には多くの皆様に参加されると聞き、私もできるならばその場に参加したいと考えておりました。しかし、齢八十八を数え、長らくの療養生活で足腰も弱くなり、車椅子をはなすことができなくなっております。

今回の総会会場となる「友愛会館」は私にとっても思い出のある所ですが、移動の手段もままならず皆様と直接お会いすることができないことを残念に思っております。またの機会に是非お会いしたいと願っております。総会の盛会をお祈りするとともに、皆様のご健勝をお祈りいたします。

令和5年2月8日

菅沼 喜久次

3. 会長挨拶 [10:05]

◆高石会長より挨拶。

・菅沼会長が退任後、こうした場での紹介は初めてであるが、今後は折に触れ連絡していきたい。
・数年来、JVCケンウッド労組の上部団体については、JAM(ビクター労組)と電機労連(ケンウッド労組)の2つがあり今後の対応に苦勞されていたが、最終的にJAMに一本化されることになった。これで当シニアクラブとJVCケンウッド労組が共にJAMとなって繋がった。

・長引くコロナ禍でシニアクラブの活動は何も出来なかったが、この1～2年は毎月オンライン会議が定着し、昨年7月は久しぶりに皆で顔合わせしたいとの要望から屋形船ジャズライブに約40名(バンドメンバー含む)が参加し、久しぶりに楽しい交流会が出来た。もう一つは参議院議員選挙で立憲民主党から出た村田きょうこさんを支援して見事当選、現在大いに活躍されている。3年後にはJAMから出すように今のうちから推薦などの準備を進めてもらいたいと思っている。

・長らく会員減少が続いているが、今年度からは労組にもご支援いただき、会員増を図りたい。そのためには規約も変更して、入社会社(ビクター/ケンウッド)に関係なく当シニアクラブに入会できることになった。今後とも会員増の取り組みについては皆様のご協力をよろしく願いたい。

4. 来賓挨拶 [10:15]

◆JVCケンウッド労組・藤田委員長より挨拶。

・3年ぶりとなった第21回総会の開催をお祝い申し上げ、また役員の方々を中心として会員の皆様の日頃の活動に対して心より敬意を表する。

・産別上部団体については、従来から電機労連/JAMの2つあったが組織一本化への検討を重ね

て、昨年 10 月の大会で全員投票の結果、JAM に一本化が決定した。現実的には一本化の手続きや両団体の共済事業など細部に亘る丁寧な移行が必要であり、現在手続きを慎重に行っている。
・会社経営状況は、コロナ禍で売上げや利益落ち込みが続いていたが、今期は無線事業の好調(米国での防災テロ対策など)から業績が上向き、JVCケンウッドとして最高益となる見込みである。
・4 月の統一地方選は、横須賀市会議員・井関こうじが6期目に挑戦する。横須賀在住の方々には前回に引き続きご支援ご協力をいただくと共に、知人への声掛けなど是非よろしく願いたい。

5. 報告 [10:25]

◆田代事務局長より、(1)(2)一括で報告。

(1) 令和 4 年度活動報告

<議案書 1~2 ページ参照>

・この一年間の活動はシニアクラブ便りで毎月報告し、総会案内と共に活動記録写真集も送付しているため、本日は時間の関係もあって議案書に沿ってポイントを説明する。

①昨年度もコロナに翻弄された一年で、オミクロン株拡大によって当初予定した 2 月の第 20 回総会も書面審議となった。総会議案の賛否と合わせ実施したアンケートで、会員同士の交流を願う多数の声を受け、7 月にシニアクラブ 20 周年記念として屋形船ジャズライブを企画し、約 40 名が参加。

②7月の参議院選挙は JAM と基幹労連が支援した村田きょうこ候補にシニアクラブも応援カードの協力を行い、見事当選を果たした村田議員は所属委員会で質問に立つなど積極的に活躍中。

③毎月開催のオンライン会合(ズーム会議)は毎回テーマに沿った学習や意見交換を実施。毎回、浅見さん(東京支部)のギターと歌の紹介があり、都度テーマに合わせた歌(時には替え歌も)や時代背景の説明が行われる定番企画となっている。ただ毎回の参加メンバーが固定化しており、今後は更に多数の皆さんの参加をお願いしたい。

④会員情報は令和 4 年 12 月現在 187 名(年明け 2 月現在 185 名)で、昨年度 196 名から 9 名減。平均年齢は 77.4 才、年齢構成は 60 歳台 10 名、86 才以上(終身会員)11 名。会員数推移では平成 26 年度 245 名をピークに減少中。今後、定年退職者はもとより中途転職者にも在職中に OB 会組織の存在を知らしめることが必要である。

(2) 令和 4 年度会計収支決算報告

<議案書 2~3 ページ参照>

・収入合計は会費+労組助成費+前年繰越金で 142.2 万円。支出合計は 79.8 万円(計画比 67.0%)で、総会予算は 7 月実施の屋形船交流の集いに充当、幹事会はオンライン 3 回で交通費出費を押さえたが、情宣費は活動報告カラー化、HP 維持管理費などで支出は予算対比 115.5%。

・本部・支部行事費補助は積極予算を組んだが、コロナ禍の影響から支出は予算対比 5.6%。

・収支残(繰越金)は 62.4 万円で、前年度より 7 万円弱の増加(前年繰越金 55.6 万円)。

(3) 令和 4 年度会計監査報告

<議案書 3 ページ参照>

・会計監査の白岩氏より「7/31 現在の財務諸表について厳正に審査した結果、会計処理はすべて適正であることを確認した」と報告された。 ~ (1)(2)(3)一括し、拍手で承認。

※監査日(令和 4 年 9 月 13 日)、会計監査・飯田耕治郎氏、白岩仙一氏が立ち合い実施。

6. 議案 [10:40]

◆田代事務局長より第 1 号、第 2 号議案を提案。次に、榎本幹事より第 3 号議案を提案。

(1)【第 1 号議案】 令和 5 年度活動方針に関する件

<議案書 4~7 ページ参照>

・取り巻く情勢 ①ロシアのウクライナ侵攻は昨年から 1 年経過、エネルギーや食糧などが影響を受け、世界的に物価高騰。軍事支援によるウクライナの反撃が展開中ながら今後の行方に不安あり。

②世界は民主主義国家の影響が弱まり、権威主義国家の活動が顕著で民主主義の衰退が危惧。

③米国調査会社「今年の 10 大リスク」として 1 位、2 位にロシア・中国問題、5 位にイランの現状、7 位に米国内の分断を発表。世界がこのリスクを認知し、どう回避していくか真剣に考える時。

④昨年 12 月政府は「国家安全保障戦略」を発表。日本は総合的な国力をもって戦略的にアプローチとある。国は国民に対する正確な情報開示を、そして国民は理解力と高い判断力が必要とな

る。

⑤出生率低下、人口減少が進行。結婚年齢後退の中、子育て支援策などの少子化対策に注目。

・活動の基調 ①いきいき！と過ごす ～80歳の壁を越え人生100年時代を過ごす→常に自分は若いと思ひこむ／何にでも興味を示しチャレンジする／欲を持つ／ネガティブな話、考えをしない。

②具体的活動への提案 ～活動を活発化・多数の参加者を →皆さんから要望・アイデア募集！

③組織拡大の取り組み ～昨年11月「V9.13 元気かい」に多数参加。新会員の加入促進には現役にOB会存在をPR(現役と退職者の話し合いの機会)、現会員からOB知人への声掛けが大切。

④上部組織との連携 ～JAM本部・地方で一般会員と共に活動、地方JAM総会も一般会員と交流拡大。(JAM神奈川シニアクラブ会長に飯田耕治郎さん就任、地域の要として今後活躍を期待。

(2)【第2号議案】 令和5年度会計収支予算に関する件 <議案書8ページ参照>

・収入は会員数減による会費と繰越金、労組活動助成費で、収入合計147.6万円。支出は幹事会の対面会議などで交通費増、本部・支部行事の積極的な活動促進などから、支出小計124.4万円。一方、予備費(残額)は前年を下回る23.2万円(前年62.4万円)とする。

・会費は振込手数料の本部負担軽減のため、郵貯口座のオンライン振込活用をお願いしたい。

～ (1)(2)一括し、挙手で全員承認を確認。

(3)【第3号議案】 令和5年度・6年度役員改選の件 <議案書7ページ参照>

<会長>高石勝巳 <副会長>宮本 信 <事務局長>田代 周 <幹事>井上純一、榎本享二、大高光蔵、菊池正範、宮田宏美 <会計監査>飯田耕治郎、白岩仙一 以上10名、留任。

～ (3)は拍手で承認。

7. 閉会 [10:55] 議長降壇、書記解任。 閉会の後、全員で記念撮影が行われた。

<総会後の日程>

■国立演芸場 [13:00～16:00] (2月中席)

■新春交流会 [17:00～19:00] (日比谷公園内、日比谷サロ一)

以上